

東京都立立川ろう学校

住 所 〒190-0003	幼児・児童・生徒数	173 名
立川市栄町1-15-7	教職員数	90 名
電 話 042-523-1358	学校創立	昭和26年
ファクシミリ 042-523-6421		

1 乳幼児教育相談

乳幼児教育相談では、0歳から小学校就学前までの聞こえない・聞こえにくいお子さんと保護者の方の相談支援を行っています。医療・保育・保健・福祉など各機関との連携も大切にしています。

(ひよこくみ) 0歳児～2歳児

個別支援やグループ活動を通して、親子のコミュニケーションとお子さんの健やかな発達を支援しながら、きこえ・ことば・子育てなどの情報を提供しています。

(ことりくみ) 3歳児～小学校入学前

地域の保育園、幼稚園、療育機関に通う3歳から5歳児のお子さんについても必要に応じ、ひよこ組と同様の支援を行っています。

2 幼稚部

幼稚部では、3歳児から5歳児の保育を行っています。遊びを中心とした生活の中で、聴覚を活用しながら、手話、指文字、文字、音声など様々な手段を活用し、コミュニケーションや言葉（手話、日本語）の力を育てています。

「あそび」の時間は、異学年合同で行い、庭を中心に、遊具遊びや、砂場でのごっこ遊び、鬼ごっこなどの好きな遊びをしたり、野菜や草花の栽培をしたりしています。

「学級・学年活動」では、年齢や興味・関心、季節に応じた取り組みをしています。

「個別指導」では、一人一人の課題に合わせた支援を行っています。



遊びの時間



劇活動

3 小学部

小学部では地域の学校と同様に各教科等の学習を行い、基礎学力を身に付けます。

授業では、文字カードやデジタル教材などの視覚教材を積極的に活用し、理解しやすいようにしています。机の配置を工夫して友達の発言が分かりやすくなるようにし、集団補聴システム、大型ディスプレイを使用するなど、環境面での配慮を行っています。小学部でも「自立活動」の中で、特に「日本語」の学習の時間を設け、学力の基礎となる日本語の理解力・表現力の伸長を重視し、指導しています。



新入生歓迎会の様子

4 中学部

中学部では生徒の実態に応じて教育内容を精選し、基礎学力の向上を目指すとともに、日本語で考える力を育てるための工夫をどの授業の中でもしています。

また、行事や部活動等を通して、有効なコミュニケーション手段を選択し、相手に自分の考えを伝える力や社会で生きていくための思考力・判断力を育てています。



英語の授業

アメリカの手話も活用して学習していきます

5 高等部

高等部には3年間の普通科課程と、その上に2年間の専攻科課程があります。

普通科では、習熟度別の学習グループに分かれて学習します。学校生活全体の中で、社会参加、自立するために必要な日本語の力を高めていきます。

2年次より4つの職業系（機械、総合技術、情報ビジネス、ライフデザイン）を選択します。

専攻科では、2年間の学習をとおり、実社会で生かせるり専門的な知識・技能、ビジネスマナーを身に付けます。



職業系の学習（機械系）

6 重複学級（幼～高）

幼稚部から高等部までの各学部に設置し、よりきめ細かい指導の下、自立に必要な基本的知識や技能を身に付けます。



高等部 職業（ものづくり）

7 部活動

中学部には野球・バレーボール・卓球・陸上競技・文化、高等部には野球・バレーボール・卓球・陸上競技と、パフォーマンスアーツ同好会があります。



関東聾学校野球大会
（高等部 野球部）

8 立川ろう学校のセンター的機能

<お子さん・保護者の方への支援>

- ◎通級による指導（市区町村の小・中学校の通常学級に在籍する児童・生徒を対象）
 - ◎きこえとことばの教育的支援（特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童・生徒を対象）
 - ◎個別の御相談（きこえやことば、補聴器、就学・転学などについて）
- *面談や電話等で随時お受けします。お気軽に御相談ください。

<関係機関への支援>

- ◎学校・病院、教育委員会等からの相談をお受けします。
- ◎学校等に訪問して、きこえやお子さんへの支援方法のアドバイスをします。

9 立川学園

令和4年度から立川学園として、聴覚障害教育部門と知的障害教育部門を併設する学校となります。令和4年度は、知的障害教育部門は小1のみ在籍で、令和5年度から小学部・中学部全学年となります。